

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】令和 4 年 7 月 20 日 (2022.7.20)

【公開番号】特開 2021-161808 (P2021-161808A)

【公開日】令和 3 年 10 月 11 日 (2021.10.11)

【年通号数】公開・登録公報 2021-049

【出願番号】特願 2020-66140 (P2020-66140)

【国際特許分類】

E 0 4 B 1/30 (2006.01)

10

E 0 4 B 5/32 (2006.01)

E 0 4 B 1/35 (2006.01)

【F I】

E 0 4 B 1/30 B

E 0 4 B 5/32 D

E 0 4 B 1/35 K

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 7 月 11 日 (2022.7.11)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一対の柱、

前記一対の柱に連結される梁、および

前記梁上に位置する床スラブを備え、

前記梁は、

30

互いに対向する第 1 の端部と第 2 の端部を有する鉄骨、

前記第 1 の端部の一部を埋め込む第 1 のコンクリート、および

前記第 2 の端部の一部を埋め込み、前記第 1 のコンクリートから離隔する第 2 のコンクリートを有し、

前記床スラブは第 3 のコンクリートを含み、

前記第 1 のコンクリートの上面と前記第 2 のコンクリートの上面は、前記鉄骨の前記上面よりも上に位置し、

前記第 3 のコンクリートの強度は、前記第 1 のコンクリートと前記第 2 のコンクリートの強度よりも低い、構造体。

【請求項 2】

40

一対の柱、

前記一対の柱に連結される梁、および

前記梁上に位置する床スラブを備え、

前記梁は、

互いに対向する第 1 の端部と第 2 の端部を有する鉄骨、

前記第 1 の端部の一部を埋め込む第 1 のコンクリート、および

前記第 2 の端部の一部を埋め込み、前記第 1 のコンクリートから離隔する第 2 のコンクリートを有し、

前記床スラブは第 3 のコンクリートを含み、

前記第 1 のコンクリートの上面と前記第 2 のコンクリートの上面は、前記鉄骨の前記上

50

面よりも下に位置し、

前記第 3 のコンクリートの強度は、前記第 1 のコンクリートと前記第 2 のコンクリートの強度よりも低い、構造体。

【請求項 3】

前記梁は、

前記第 1 の端部を取り囲み、前記第 1 のコンクリートに部分的に埋め込まれる少なくとも一つの第 1 の横補強筋、および

前記第 2 の端部を取り囲み、前記第 2 のコンクリートに部分的に埋め込まれる少なくとも一つの第 2 の横補強筋をさらに備え、

前記少なくとも一つの第 1 の横補強筋の一部、および前記少なくとも一つの第 2 の横補強筋の一部は、それぞれ前記第 1 のコンクリートと前記第 2 のコンクリートから露出する、請求項 1 または 2 に記載の構造体。 10

【請求項 4】

前記少なくとも一つの第 1 の横補強筋の前記一部、および前記少なくとも一つの第 2 の横補強筋の前記一部は、前記第 3 のコンクリートに埋め込まれる、請求項 3 に記載の構造体。

【請求項 5】

前記梁は、前記鉄骨の長手方向に延伸する少なくとも一つの第 1 の梁主筋と少なくとも一つの第 2 の梁主筋をさらに備え、

前記少なくとも一つの第 1 の梁主筋は、前記鉄骨と前記少なくとも一つの第 1 の横補強筋の間に配置され、 20

前記少なくとも一つの第 2 の梁主筋は、前記鉄骨と前記少なくとも一つの第 2 の横補強筋の間に配置される、請求項 1 または 2 に記載の構造体。

【請求項 6】

前記鉄骨は H 鋼である、請求項 1 または 2 に記載の構造体。

【請求項 7】

前記床スラブは板材を含み、

前記板材は、前記第 1 のコンクリートと前記第 2 のコンクリートから離隔する、請求項 1 または 2 に記載の構造体。

【請求項 8】

前記床スラブは板材を含み、

前記板材は、前記第 1 のコンクリートと前記第 2 のコンクリートに接する、請求項 1 または 2 に記載の構造体。 30

【請求項 9】

一对の柱を互いに対向する第 1 の端部と第 2 の端部を有する鉄骨で連結すること、

前記第 1 の端部の一部と前記第 2 の端部の一部をそれぞれ第 1 のコンクリートと第 2 のコンクリートで覆うこと、および

前記第 1 のコンクリート、前記第 2 のコンクリート、および前記鉄骨上に第 3 のコンクリートを打設することで床スラブを形成することを含み、

前記第 1 のコンクリートと前記第 2 のコンクリートは、前記第 1 のコンクリートの上面と前記第 2 のコンクリートの上面が前記鉄骨の前記上面よりも上に位置するように打設され 40

—
前記第 3 のコンクリートの強度は、前記第 1 のコンクリートと前記第 2 のコンクリートの強度よりも低い、構造体の施工方法。

【請求項 10】

一对の柱を互いに対向する第 1 の端部と第 2 の端部を有する鉄骨で連結すること、

前記第 1 の端部の一部と前記第 2 の端部の一部をそれぞれ第 1 のコンクリートと第 2 のコンクリートで覆うこと、および

前記第 1 のコンクリート、前記第 2 のコンクリート、および前記鉄骨上に第 3 のコンクリートを打設することで床スラブを形成することを含み、 50

前記第 1 のコンクリートと前記第 2 のコンクリートは、前記第 1 のコンクリートの上面と前記第 2 のコンクリートの上面が前記鉄骨の前記上面よりも下に位置するように打設され、

前記第 3 のコンクリートの強度は、前記第 1 のコンクリートと前記第 2 のコンクリートの強度よりも低い、構造体の施工方法。

【請求項 1 1】

前記第 1 の端部を少なくとも一つの第 1 の横補強筋で取り囲むこと、および
前記第 2 の端部を少なくとも一つの第 2 の横補強筋で取り囲むことをさらに含み、
前記第 1 のコンクリートは、前記少なくとも一つの第 1 の横補強筋の一部を露出するように打設され、
前記第 2 のコンクリートは、前記少なくとも一つの第 2 の横補強筋の一部を露出するように打設される、請求項 9 または 1 0 に記載の施工方法。

10

【請求項 1 2】

前記少なくとも一つの第 1 の横補強筋の前記一部、および前記少なくとも一つの第 2 の横補強筋の前記一部は、前記第 3 のコンクリートに埋め込まれる、請求項 1 1 に記載の施工方法。

【請求項 1 3】

前記鉄骨の長手方向に延伸する少なくとも一つの第 1 の梁主筋と少なくとも一つの第 2 の梁主筋を配置することをさらに含み、
前記少なくとも一つの第 1 の梁主筋は、前記鉄骨と前記少なくとも一つの第 1 の横補強筋の間に配置され、
前記少なくとも一つの第 2 の梁主筋は、前記鉄骨と前記少なくとも一つの第 2 の横補強筋の間に配置される、請求項 1 1 に記載の施工方法。

20

【請求項 1 4】

前記第 3 のコンクリートを打設する前に、前記第 1 のコンクリートの上面と前記第 2 のコンクリートの上面に凹凸を形成することをさらに含む、請求項 9 または 1 0 に記載の施工方法。

【請求項 1 5】

前記鉄骨は H 鋼である、請求項 9 または 1 0 に記載の施工方法。

【請求項 1 6】

前記床スラブの形成は、前記第 3 のコンクリートを打設する前に前記鉄骨上に板材を配置することをさらに含み、
前記板材は、前記第 1 のコンクリートと前記第 2 のコンクリートから離隔するように配置される、請求項 9 または 1 0 に記載の施工方法。

30

40

50